

科目名	視能矯正学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目	必修	12単位
担当教員	◎教授 林 孝雄 教授 松岡久美子 教授 臼井千恵 教授 三橋俊文 教授 池田結佳 准教授 金子博行 准教授 林 弘美 講師 渡部 維 講師 大鹿京子 講師 佐々木翔 講師 広田雅和 助教 中込亮太 (研究補助) 助教 加藤可奈子 (研究補助)					科目ナンバー	T1C205
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	両眼視機能、眼筋機能、および視覚機能に関連した科目の講義を通じて、博士論文の研究主題を一つ選びその作成を行う。主題に関しては今後さらに研究が継続できる可能性を持たせる。						
授業の到達目標	①研究を行うのに必要な文献検索や研究成果のまとめ、考察の仕方から結論へと導いていくことができる。研究の進捗状況は逐次報告をすること。 ②研究結果は学内の研究会および学外の学会で発表し、発表方法および発表内容から、自ら研究の意義を明らかにして視能矯正学の学問発展を促すための新知見を示すことができる。 ③高度専門職としての視能訓練士に到達することができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	【行動目標】 関心のあるテーマについて文献を調査し、どのような方向で研究を進め、まとめるかを考察する。 研究結果は研究会または学会で発表し、博士論文を作成する。						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究に関する文献について十分に読解すること。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に180時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時 指示する。						
参考書							
成績評価の方法および基準	口頭試問50%、中間発表50%で評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 2年次に博士論文中間発表を行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。(ディプロマ・ポリシー3に相当する)						